

やっぱり 看護が好き

座談会

やっぱり看護が好き
福祉施設における看護の喜び

Interview ● これからの看護

看護師の自主性を支援
あきらめずに挑戦すれば実現できる

おすすめ研修

平成21年度の研修について(ご案内)

就職応援イベント

平成20年度 看護職のための就業フェア

川野 良子さん 東京女子医科大学病院 副院長・看護部長

看護師の自主性を支援 あきらめずに挑戦すれば実現できる

「本当はキャンピングアテンダントになりたかった」という川野良子さん。中学卒業直後に急性腎炎で半年間入院したことがきっかけになり、看護短大に入学しました。

「卒業したら目指す道に進もうと思っていましたが、教授の勧めもあり、1年くらいならと病院に就職したのです」

ところが配属された脳神経センターICUで、瀕死の患者さんに家族が一生懸命訴えかけている光景を目にし、軽い気持ちで看護師になったことを猛反省。そして、「看護は底知れぬ未知の世界。ここでやつていこう」と、心に決めました。

東京女子医科大学病院では、永井厚志院長の考案で2年前から院内に目安箱を設けました。看護師からの意見も年間50〜60通あるそうです。

「匿名ですので、本当の声だと受け止め、誠心誠意回答しています」と、川野さんは下からの声の吸い上げを大事にしています。

それは、特に新人看護師はストレスを抱えて不適応になることがあり、経験1年未満の看護師の離職率が、3年前までは約15%もあったからです。そこで川野さんは、そういった看護師との面談を始め、メンタ

ルサポートや配置替えなどに取り組んできました。

平成19年度からは、不適応になりやすい最初の3カ月間は、①定刻で帰すこと、②課題を与えないこと、③ケアの喜びをベッドサイドで体験すること、これら三つを全部署に課したところ不適応はゼロになり、新人看護師の離職率は半減しました。

看護部では、管理職が決めた看護目標や病棟目標とは別に、診療科を越えて自主的に取り組むグループプロジェクトを毎月募集しています。その中で小児科看護師によるプロジェクトが三つ実現しつつあります。

一つは、冷たい印象を与えやすい白衣をカラフルにするというもので、3カ月のトライアルでは評判もよく、また早稲田大学と共同で、不安度との関係からエビデンスを出す研究も始めました。二つ目は、院内に癒しの空間を設けるというもので、総合外来センター地下に「ちひろ美術館・東京」のピエゾグラフィを展示しています。三つ目は、絵柄入りの食器を使用するというものです。

「若いスタッフの柔軟な発想を大事にして、あきらめずに挑戦すれば実現できるという体験をしてほしいと思います。看護師の仕事は大変な面もありますが、その中に喜びや

充実感を感じることができれば、続けていきたいと感じるはずですよ。そのためにも応援していきたい」と川野さん。

自身も、脳神経センターICUでは意識のない患者さんが看護ケアにより回復する様子を目の当たりにしたり、精神科では患者さんの優しさに触れたりすることが、やりがいや喜びにつながったといいます。

「日々の業務から学ぶことが多く、成長を続けられるのは環境のおかげ。だから看護師を続けているのです」

同院では再就職の看護師も積極的に受け入れています。

「決まった教育プログラムはありませんが、その方に合わせて働いていただいています。再就職を希望する方は知識や技術を持っていますので、それを活かせるように、是非ともトライしていただきたいと思います」



プロフィール

川野 良子（かのの よしこ）

東京女子医科大学看護短期大学卒業後、東京女子医科大学病院に就職し、脳神経センターICU勤務。同センター病棟勤務・教育担当を経て、神経精神科に配転。看護師長へ昇格。総合外来センター建設準備室へ配転となり、同センターの設立に準備段階からかかわる。看護部へ配転となり、看護部長を経て、2005年より現職。

東京女子医科大学評議委員。「新体系看護学全書」（メジカルフレンド社）の編集、「死別の悲しみの臨床」（医学書院）の翻訳などにもかかわる。

平成21年度の研修について(ご案内)

平成20年度の研修41科目は、応募者も多く好評のうちに終了しました。

今まで、東京都ナースプラザの研修のミッション(使命)は、潜在看護職の再就業の促進と都内の中小の医療機関や社会福祉施設などに就業している看護師の定着促進、そして本来東京都が行うべき研修をそれに替わって実施することにあります。



で、職場の上司の推薦が必要であることや研究計画書を事前に提出していただくことなど細かい手続きはありますが、中小施設の業務の改善や看護のレベルアップに寄与し、確実に自分で課題を解決する力をつけることができる研修です。

うつ予防・自殺予防(新設科目)

自殺による死亡者が全国で3万人を超えるなど社会問題となっています。看護師は患者さんに直接ケアを提供する立場にあります。患者さんのメンタルヘルスもあわせて、包括的にみていかざるをえない状況にあるため導入しました。

退院調整の看護(新設科目)

2008年4月の診療報酬改定で、後期高齢者の退院調整に対しての加算が新設されたことを受けて設けた研修です。

実習指導者研修(40日間)

行政に替わって行う研修の代表的なもので、40日間にわたる研修です。21年度には看護師基礎教育のカリキュラム改正がありますので、内容を組み替えるなど新カリキュラムに対応した内容で行います。

このほかにもたくさんさんの新設科目を用意しております。

平成21年度の研修は時宜に合った科目と講師陣を揃え、さらなる充実を図っております。積極的な応募・ご参加をお待ちしております。

研修計画の詳細につきましては別冊の研修計画やホームページ等を参照ください。

オワンクエンゲとGFP 臨床応用はいつになるの?

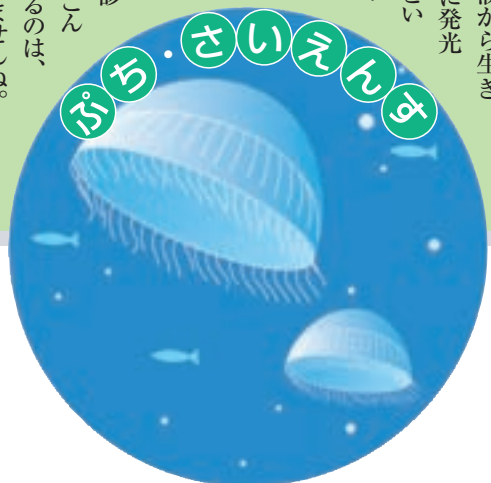
タイトルから、2008年の下村脩博士のノーベル化学賞受賞を思い出さない人はいないでしょう。ご存知のようにGFPはオワンクラゲから得られた緑色蛍光蛋白質です。これまでGFPは分子レベルの生命現象を観測するために、生きた実験動物を対象として使われてきました。医学分野では、がんやハンチントン病、アルツハイマー病などのモデル動物で、病因となる細胞を特異的に光らせることに成功してきました。

さて、実際に臨床に応用されるのはいつ頃になるのだろうと思っていたところ、国内で癌体外診断用医薬品の実用化が進められているというニュースが飛び込んできました。臨床応用は、まず乳がんから始められるようです。末梢血液から生き

たがん細胞を特異的に発光させることができるという画期的な話です。が

んとその転移の可能性を、これまでより早期に見ることができるのと同時に、治療効果の判定にも役立ちそうです。

組織を採って細胞診断したうえで手術——こんな診療法が昔話になるのは、意外に早いかもしれませんね。



永谷 ゆかりさん

(社会福祉法人武蔵野療園 渋谷区総合ケアコミュニティセンター)

橋上 三枝子さん

(医療法人社団真愛会 介護老人保健施設あかしあ里)

鳥海 房枝先生 〈特別参加〉

(社会福祉法人北区社会福祉事業団 北区立特別養護老人ホーム 清水坂あじさい荘 総合ケアアドバイザー)

網野 寛子所長 〈聞き手〉

(東京都ナースプラザ所長)

いま看護職がもつとも求められている福祉施設は、人生経験で培われた柔軟な考え方や創造力が活かせる職場です。福祉施設への再就職に、一步を踏み出してみませんか。

福祉施設での看護の実際

網野 今日は、病院勤務を経て福祉施設に再就職されたお二人の方に来ていただきました。そして、私どもの研修の講師もしていただいております。鳥海先生にもお越し願いました。福祉施設で看護職がどんな働き方をしている、どんな生きがいを感じているか、お聞きしたいと思います。

お三方が福祉施設での看護に出会った経緯については、プロフィールも参照いただくとして、早速ですが、どんな理由からいまの施設に就職されたのか、永谷さん、橋上さんにお話しただけだと思います。

永谷 私の場合、出産を経験したことが大きかったと思います。子どもが3人いるのですが、3人とも水中出産を選択しました。そのときに、助産院や自宅での出産を経験して、医療が介在しなくても、できることがたくさんあるな、と思いました。その人がその人らしく生きることを支えるような仕事がしたいと思ったのです。

座談会

やつぱり看護が好き 福祉施設における 看護の喜び



後列左から鳥海先生／網野所長、前列左から永谷さん／橋上さん

「せせらぎ」の前は、6年間のプランクから復帰して、都立病院の外来に勤務していたのですが、その時その時で終わってしまう外来業務に、物足りなさがあったように思います。その時点で、復帰から1年間、週4日働けていましたから、もう少し働けそうだと思います。場所が自宅のすぐ近くだったことも大きかったと思います。

橋上 私がいま勤めている「あかしあ里」には学生だったころ、老年看護学実習でお世話になりました。そのとき、とてもよい印象をもちました。

し、実習が楽しかったことも記憶に残っていました。卒業して病院に勤めましたが、通勤時間の関係で通いづらくなったこともあって、職場を替えることを考えたときに、「あかしあ里」を思い出しました。連絡を入れてみましたら、ちょうど看護職を募集しているということでしたので、すぐに働くことに決めました。看護学生の間から、お年寄りの看護には関心がありました。

網野 具体的には、どんなお仕事をされていますか。

永谷 私はいま特養ではなく、在宅のショートステイに主ににかかわっています。ショートステイでは、在宅でのその人の生活の仕方、こう生きていきたいという確固としたスタイルがあります。医療側主導で、型にはまったかたちで何かを強制することなく、利用される方の生き方・在り方に添うような働きかけを、こちらが工夫します。その工夫の楽しさがあります。

網野 橋上さんはどうでしょうか。

橋上 「あかしあ里」には、一般棟と認知症専門棟があります。私は認知症専門棟にいます。主に入所されている方の体調管理をしています。いまは医療依存度の高い方が老健にいらっしゃいますので、薬剤の管理、健康管理全般、生活のケアをしています。褥瘡の予防、あるいは嚥下の

●プロフィール●

永谷 ゆかりさん
十善会看護専門学校を卒業し、社会福祉法人十善会病院消化器外科に就職。出産・育児のため退職。ナースプラザの紹介により復職し、都立病院外来に勤務。2003年渋谷区総合ケアコミュニティセンターに再就職。07年「地域看護の実習指導者研修」に参加。現在に至る。

橋上 三枝子さん
2003年東京都立青梅看護専門学校3年課程を卒業し、昭島病院内科に就職。同年介護老人保健施設あかしあ里に再就職。08年ナースバンク立川の「老人保健・福祉施設実習指導者研修」に参加。現在に至る。

鳥海房枝先生

1968年日本赤十字中央女子短期大学(現 日本赤十字看護大学)卒業。69年都立公衆衛生看護学院保健婦科卒業。同年都立豊島長崎保健所入職し、王子保健所、赤羽保健所にて保健所勤務通算15年。84年北区役所衛生部公害補償課

管理など、予防的なところが多いですね。

創造的な福祉施設の看護 そこで求められる看護判断力

網野 鳥海先生、高齢者をケアしていくときに、こちらが気をつけなければならないのは、どういうところでしょうか。

鳥海 まず、「若い」を認識して受け入れることが大事ですね。老いと死は予防できませんので、そこを考え方の基本として持つ必要があります。また、医療でしたら、治療効果という部分で、これでよしということがエビデンスとしてありますが、ベースが「暮らし」で、しかも高齢者ですから、マニュアル的な正しい答えは存在しません。それぞれの利用者さんがそれぞれに、生きてきた歴史を背負っています。したがって、Aさんにこうやってうまくいったから、Bさんにもうまくいくかというところ、そうはいかないところがあります。ですが、そこがとても創造的で面白いところだと思っています。

網野 永谷さんは、いま鳥海先生がおっしゃったようなことをお感じになることはありますか。

永谷 とてもよくわかります。とくに私の場合、在宅が主ですので、その方の歴史を感じる機会は

多いかもしれません。



永谷さん



橋上さん

網野 橋上さんはどうですか。

橋上 鳥海先生がおっしゃるように、利用者さん個々で全く違います。認知症で入所されている方々ですので、穏やかな日常を送っていただけよう努力しています。でも、同じ職員が1日を通してかわるというわけにはいきませんので、なかなか難しいところもあります。精神的なところで難しさもあるし、楽しさもある、そこはやりがいのつだと思っています。

網野 福祉施設という介護の現場での看護職の専門性、果たすべき役割について、鳥海先生はどのように思われますか。

鳥海 そこに働く看護職がどういう方向で仕事をしているかによって、その施設の質が決まるほど看護職の占める位置は重要です。常勤の医師のいる施設はきわめてまれですから、なおのことそうです。もともと利用者さんがそれほど元気でないわけですから、生命にかかわる問題は必ずあります。「これでいいから大丈夫」と常に看護師が介護職に言える、介護職は生き生きと仕事ができるようになります。ふだんは自分が先に立つて何かをするよりも、人数が多い介護職に安心して働いていただく。そして一朝事があつたときに、医療の対象になるのかという判断をして、決断をするというのが看護職の専門性だろうと思っています。

他職種との連携・協働

網野 福祉関係の施設において、看護職が長く働くには、どんなところに注意が必要でしょうか。

永谷 私としては、生活とのバランスが大事だと思っています。私の職場は家庭を持っている看護職、介護職が多く、世代もいろいろです。先輩のママさん職員もいますから、子どものことで家庭がピンチになったときでも、支え合う精神的・物理的なサポートがあることが、自分が頑張るための力になってくれています。

網野 橋上さんはいかがですか。

橋上 生活とのバランスはおっしゃる通りに大切だと思います。さらに、職場の状況も重要だと思います。忙しすぎて、利用者さんにしてあげたいこともしてあげられないというジレンマを感じることもけっこうあります。また、施設の現場は看護職だけでなく、介護職、相談員、事務職など、いろいろな職種の方がいます。たとえば、介護職からすれば、看護はこうしてくれない、看護職からすれば、介護さんはどうしてわかってくれないの、という問題が生じやすいのは否めません。そういったところでフラストレーションがたまってしまうと、長く働き続けるのは難しいと思います。みんなで目指す方向を決めて、他職種との連携がうまくいくと、潤滑がよくなってストレスが減ると思います。

網野 看護職と介護職は基本的な教育の中身が違います。そのことからくる考え方や方法論の違いがあると思います。鳥海先生も長い間、いろいろなジレンマを感じてこられたと思いますが、アドバイスがありましたらお願いします。

鳥海 看護職の介護の研修を見ると、「介護職をどう教育するか」というコマが入ることが多いのです。私は、教育などとおこがましいことを言うべきではないと思っています。逆のことを考えてみてください。では、看護職は介護職から教育されるのか、リハビリテーションの職種から教育されるのかということになります。そうではなく、「連携」ということだと思います。

介護と看護の関係についてよく

同衛生部保健衛生課、同高齢福祉部在宅保健福祉課に勤務。98年特別養護老人ホーム北区立清水坂あじさい荘副施設長。2007年同総合ケアアドバイザーならびにNPO法人メイアイヘルプユニ事務局長。現在に至る。

網野寛子所長

1968年佐久総合病院高等看護学院卒。同年看護師免許取得し、臨床経験8年後、77年都立公衆衛生看護専門学校保健学科卒。保健師免許取得し保健所、都庁勤務。87年国立公衆衛生院専攻課程看護コース修了。93年看護職養成に転じ都立看護専門学校校長を歴任。2005年東京福祉大学社会福祉学部卒。07年都立板橋看護専門学校校長を定年退職。同年4月より東京都ナースプラザ所長。08年明星大学大学院修士課程修了。現在に至る。





網野所長

「利用者さん、あるいは入居者の方を主語にして話をすることで、「看護として」ということは絶対に言っていないということ。看護としてこう考えると、介護としてこう考えると、空中分解です。そうではなく、「入居者のAさんにとって、こうなったらいい」ということを共有できることが連携なのだと思います。利用者さん、入居者さんを主語にして語ることから一歩もずれないということが、いい連携をしていくために、また看護職が何を考えているかを他の職



鳥海先生

よく考えてみると、介護は看護の一部だろうと、私は思っています。冒頭のお話のように、介護の現場では利用者さんあるいは入所者の方の体調について、予防的なことをしていますね。予防的なことというのは、すなわち介護とイコールなのだと思います。その部分は医療の部分の何かで補完できるものではないので、教えるというかたちでやっていくと、うまくいかないだろうと思います。看護職はそのあたりをしっかりと認識するべきだと思います。

福祉施設で看護職が長く働き続けるためには、介護職といかに連携しあつて協働していくかということがキーポイントです。いい意味で介護職を視野に入れて連携していくことです。それがうまくいくと、仕事が面白くなると思います。

網野 具体的には、どのようにしていったらいいでしょうか。

鳥海 いろいろなところでお話するのは、必ず利用者さん、あるいは入居者の方を主語にして話をすることで、「看護として」ということは絶対に言っていないということ。看護としてこう考えると、介護としてこう考えると、空中分解です。そうではなく、「入居者のAさんにとって、こうなったらいい」ということを共有できることが連携なのだと思います。利用者さん、入居者さんを主語にして語ることから一歩もずれない

種にわかつていただくために大事なことでないかと考えています。私自身、「看護として」あるいは「管理者として」ということは、絶対に言うまいと思つてやってきました。

柔軟な考え方と創造力で 福祉施設へのステップを

網野 では、いま病棟で働いていて、次には福祉施設で働きたいと思つたら、どういうことがポイントだと思いますか。

永谷 最近、看護職の職域の拡大が言われていますし、医療分野から地域保健福祉・介護医療分野への視点の転換が必要ということもよく耳にします。しかし、一歩を踏み出せるかどうかは、看護職であるその人自身が、そう見えるかどうかだと思います。

医療の枠の中に入った看護は、医療者の視点という確固たるものがあつて提供されますから、患者さんに対して、「こうしてください」という、押しの強さがあります。患者さんも治療のことですから、たとえば少し疑問に思うようなことがあつたとしても、専門職の指示なのだからと、提供されるものを受け入れることが多いと思います。しかし、福祉施設での看護は、もし看護職が一方的な提示をしたとしたら、利用者さんははつきりノーというでしょう。そこで、「そういう見方もあるのだな」と考えるようになります。

網野 要するに、柔軟な考え方ができるようになつていかなければならないということですね。

永谷 そうですね。どちらかといえば、受容して自分を変化させていく。命令ではなく、提示でもなく、本当に相手の気持ちを受けて、双方でつくりあげていくというかわり方ができるかどうかということでしょうか。

網野 橋上さんはいかがですか。

橋上 看護師という職種ではなく、「二人の人間として」というところに戻っていただくといいのかなと思います。

網野 鳥海先生、話をまとめていただけますか。

鳥海 病院は、治療をすること、治療効果をあげることを中心にしますね。それはそれで病院の機能としてとても大事なことです。でも、「暮らす」ということは、主体は利用者さん本人ですから、ご本人にとつてどうなのかを常に考えていく必要があります。老いていき最後は亡くなるわけですから、医療で何とかできることは、本当はいくらもないのです。

完全に回復するわけではなく、いずれ亡くなるのだから、やりがいがないだろうとおっしゃる方もいますが、そうではない。だからこそ今を大切にしようよ、ということではないでしょうか。そこに楽しさがあるし、お二人がおつしやつたように、とても創造的な仕事だと思つています。

網野 お話は尽きませんが、時間のようです。皆さんのお話をうかがつていて思つたのは、福祉施設へのステップを踏み出すには、利用者さんを主体者として、他職種と協調・協働していける柔軟な考え方と創造力が必要なのだなということです。そこに、出産や育児などを通して培った人生経験が活きるのではないのでしょうか。福祉の現場も看護職にとつて、魅力のある職場だと思つていますので、ぜひ一歩を踏み出していただきたいですね。

今日は貴重なお話をありがとうございました。



看護職のための就業フェア

「看護職のための就業フェア」をご存知ですか？ このフェアは、再就職希望看護職および看護学生の方と求人施設の方々が自由に情報交換をしていただくための「場」として、東京都ナースプラザが毎年開催しているものです。20年度のフェアは、7月13日（日）午前11時から午後4時まで、サンシャインシティ文化会館2階「展示ホールD」を会場として開催されました。フェアの様子をお知らせします。

会場のサンシャインシティは東池袋から徒歩約3分。梅雨明けを思わせる強い日差しが降りそそいだ1日でしたが、会場は空調が効いて快適です。受付で記名し、資料の入った袋を受け取って入口へ。入ってすぐのスペースには、「冊子・パンフレットコーナー」が設けられ、参加施設のアピールが紹介されています。さて、目指す施設のブースへ移動します。参加施設は計126。東京都関連施設を除いた100施設には各々ブースが割り当てられており、就業希望者2、3名、施設側からも同人数が着座できるスペースがあります。時間のゆるすかぎり、じっくり施設の方々と話し合いたいです。お子さん連れの方のためには「キッズコーナー」が設けられており、保育士さん3名が常駐しています。乳母車で来場された方も、「キッズコーナー」にお子さんを託し、しっかりと話し合いができたようです。

午後になり来場者の数が増えてきました。でも、会場が広いので、混雑感はありません。14:30からは「アルパやすらぎコンサート」が企画されました。アルパは南米パラグアイの民族楽器で、スペイン語でハープを意味するそうです。思わぬプレゼントをもらったような、ちょっと得した気分の一休みでした。

再就業に向けての手がかりを得たのでしょう、帰路につく方々の充実した表情が印象的でした。

今年のフェアも夏の開催が予定されています。開催日時や場所が決まり次第ホームページでご案内いたします。

なお、フェアのミニチュア版、「ふれあいナースバンク」は、年8回開催されています。ぜひ会場に足を運んでみてください。



「暑い中、ご苦勞様です。」受付では、ナースプラザの職員が対応にあたっています。



「冊子・パンフレットコーナー」。気になる施設をチェック。



広い会場の、そこそこで面談中。



施設の方たちの親身な対応に、話はずみです。



「キッズコーナー」で、子どもたちはご機嫌で遊んでいます。お母さんも安心して面談中。



Yomiさん（アルパ奏者）、小川圭一さん（CFC project）の詩の朗読による「アルパやすらぎコンサート」。

平成21年度

**ふれあい
ナースバンク
「再就職相談会」
開催予定**

5/29(金) 東京都ナースプラザ
6/ 5(金) 京王プラザホテル八王子
9/18(金) 東京都ナースプラザ
10/ 2(金) ナースバンク立川

11/27(金) 東京都ナースプラザ
12/ 4(金) ナースバンク立川
1/29(金) 東京都ナースプラザ
2/ 5(金) ナースバンク立川

お知らせ



4月より求人・求職サイト [e-ナースセンター]がリニューアルします

これに伴い、以下の期間は[e-ナースセンター]のご利用ができませんのでご了承ください。

3月31日(火) 21:00 ~ 4月6日(月) 12:00

なお、上記期間中は、求人施設・求職者の登録およびパソコンによる検索や紹介状発行等の諸手続きが停止となりますので、ナースバンクでは、窓口で相談員による就業相談のみの対応とさせていただきます。

ご迷惑をおかけしますが、ご了承のほどよろしくお願いいたします。

なお、リニューアルに関する詳細については、e-ナースセンターのホームページ

<http://www.nurse-center.net/> をご確認ください。

プレゼント

ナースプラザのオリジナル 「エコバッグ」



エコに配慮し、レジ袋の有料化が進んでいます。写真はナースバンクのオリジナル「エコバッグ」です。ナースバンクに求職者登録があったて再就職され、求人施設または本人からナースバンクへ採用報告があった方に、再就職のお祝いと就業継続をお祈りしてプレゼントしています。(2種類の絵柄のうち、どちらをお届けするかはランダムとなります。なお、発送は先着順とし、在庫がなくなり次第終了とさせていただきます。)

つれづれ...

ナースバンク来所者を年齢別にみてみると、25〜35歳の若く働き盛りの年齢層の割合が高い。
看護師の免許を取得すると、最初の職場として選ぶのは、ほぼ全員が病院である。4〜5年臨床の現場にいたところで、結婚、出産や育児などのライフイベントの時期がくる。このまま仕事を続けられるだろうか？と将来に不安を抱き、転職しようか迷う。来所した彼女たちに、職場についての希望を聞いてみると、通勤時間が短く、日勤だけで、職場の雰囲気がよく、給料がたくさんもらえるところ、と言う。
えっ？ そんなバラダイスはあり？
働くということは、その職場で求められる能力を発揮することであり、お給料はそれへの対価として支払われるものです。甘すぎる認識は考えもの。(H・A)

●新宿区・立川市の木／ケヤキ●

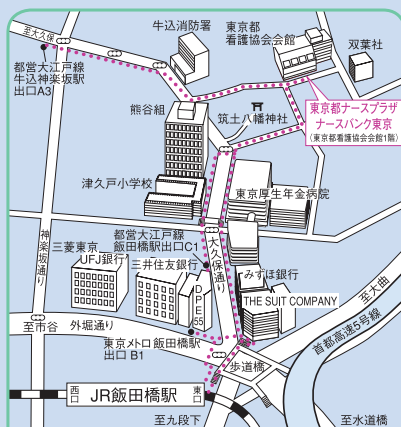
表紙のイラストには、「ケヤキ」が描かれています。みつけましたか？
街路樹のケヤキが芽吹いてきました。ケヤキは放射状に広がる独特の樹姿が美しく、ナースプラザのある新宿区、ナースバンク立川のある立川市をはじめ、都内15の区や市の木に指定されています。2008年6月、スペースシャトル「ディスカバリー号」に搭乗した星出彰彦さんは、駒沢オリンピック公園のケヤキの種をシャトル内に持ち込みました。宇宙を旅してきた約1300粒の種は10月東京都に返還され、いまは植樹のときを待っているそうです。若木に育った「宇宙ケヤキ」との、数年後の出会いを楽しみにしたいですね。

ACCESS

- 【ナースバンク 東京】 ●JR中央・総武線 飯田橋駅東口から徒歩7分
●東京メトロ東西線・有楽町線・南北線 飯田橋駅 出口B1から徒歩6分
●都営大江戸線 飯田橋駅 出口C1から徒歩5分
●都営大江戸線 牛込神楽坂駅 出口A3から徒歩5分
- 【ナースバンク 立川】 ●JR中央線・青梅線・南武線 立川駅南口から徒歩10分
●多摩都市モノレール線 立川南駅から徒歩8分

東京都ナースプラザ 検索

- ホームページ: <http://www.np-tokyo.jp/>
●Eメール: np@np-tokyo.jp



ナースバンク東京
TEL03-3359-3388



ナースバンク立川
TEL042-529-7077